

目次

はしがき

●遊女の手引き 本篇

- 一、発端・ヴァーラーナシーの都 17
- 二、若い遊女マーラティーが、遣手女ヴィカラーラ
ーに色の道につき教えを請うこと 21
- 三、遣手女、マーラティーに誘惑の相手として、役
人の道楽息子チンターマニの行状を語る 30
- 四、チンターマニ誘惑のため、気の利いた使いの女
を派遣する 37
- 五、チンターマニのもてなし方 48
- マーラティーの語るスندگانセーナと遊女ハーララ

- 六、花の都バータリプトラ……………57
- 七、婆羅門ブランダラと息子スンダラセーナのこと……………62
- 八、スンダラセーナ、友人ダナパーラに旅行の相談をし、友人は旅の苦勞を説いて思い止まらせようとするが、二人は旅に出て、アルブダ山に登る……………67
- 九、アルブダ山の描写……………73
- 十、山上でスンダラセーナは美しい遊女を見て恋心を抱き、女も愛情を覚える……………78
- 十一、遊女ハリラターの友達シャンプラバーは、遊女に純愛は適わしくないと諫めるが、耳を藉さない。友達はスンダラセーナの許に行つて、ハリラターの慕情を訴える……………82
- 十二、スンダラセーナが心を傾けるのを見、友達のグナパーリタは遊女の手練手管を語つて忠告するが、彼は耳を藉さない……………88
- 十三、アルブダ山麓の遊里の情景が、遊女、遣手女、遊び人たちによつて語られる……………95
- 十四、スンダラセーナ、ハリラターの家に入り、二人は熱烈に愛し合う……………103
- 十五、遊女たちの内緒話……………109
- 十六、一年半の愛欲生活を続けたある日、スンダラセーナの父ブランダラからの飛脚が到着……………112
- 十七、父親の詰問の手紙……………114
- 十八、友人グナパーリタ、高貴な婆羅門の家柄に生まれた者の義務を語り、また良家の妻の在り方を……………

述べて、遊女との別離を迫る……………	117
十九、スندگانラセーナ、別離の決心を告げ、ハラー ラターも納得して、二人の間に哀別の言葉が交わ される……………	122
二〇、スندگانラセーナは別れを告げて出発し、残さ れた彼女は悲歎のあまり榕樹の下で死ぬ……………	127
二一、旅人からハラーラターの死を知らされたスン ダラセーナは、榕樹の下に引き返し悲歎にくれて 彼女を偲び神に訴える……………	129
二二、友達グナパーリタがハラーラターの亡骸に火 を点じた時、スندگانラセーナはその火中に身を投 げようとするが、その時賢者の声があり、スンダ ラセーナはその言葉に従い、友人と共に苦行林に 入る……………	133

二三、遣手女ヴィカラーラーは、マーラティーに忠 言を続ける……………	135
●遊女の手引き 註……………	140
●解題……………	169
●テキスト……………	172
●翻訳……………	175
●参考書……………	177
●登場人物……………	180
●余録……………	191
トリ・ヴァリー (三鬘の鬘) とローマーヴァリー (生毛の條)……………	191